

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	坂田 温
		全体計画						経費区分		-		内線	245-1770
事務事業名	4233 臥竜公園管理事業												
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課												
施 策	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費											
	事業	020000 臥竜公園管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
臥竜公園の維持管理と整備						市民の憩いの場としての都市公園整備を充実する。動物園と一体となった観光拠点としての誘客が図れる。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定) ・松保全(整枝剪定) ・緑地整備(除草等) ・竜ヶ池の水質改善(一部入替) 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定) ・松保全(整枝剪定) ・緑地整備(除草等) ・竜ヶ池の水質改善(一部入替)
平成29年度 実績	平成30年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定) ・松保全(整枝剪定) ・緑地整備(除草等) ・竜ヶ池の水質改善(一部入替) 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定) ・松保全(整枝剪定) ・緑地整備(除草等) ・竜ヶ池の水質改善(一部入替)
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定) ・臥竜山等(里山)整備や松保全(整枝剪定) ・緑地整備(除草等) ・竜ヶ池の水質改善(一部入替) 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜樹勢回復(病虫害対策、EMボカシ肥作成、施肥、土壌改良、整枝剪定) ・臥竜山等(里山)整備や松保全(整枝剪定) ・臥竜公園施設改築や緑地整備(除草等) ・竜ヶ池の水質改善(一部入替)

指標名	須坂市動物園入園者数						
算式	年間入園者数					単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	160,000	150,000	150,000	150,000	150,000	
	実績	136,576	142,755	134,919	126,656		
指標選定の理由	公園利用者だけを算出することは出来ないのので動物園の来園者を指標にする。						
最終年度 目標の根拠	過去の実績を基に算定。						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		43,931	36,054
特定 財源	国庫支出金	8,976	0
	都道府県支出金	1,837	0
	地方債	0	0
	その他	2,283	2,205
一般財源		30,835	33,849
人員数 (人)	正規職員	1.5	0.6
	嘱託職員	3.8	4.7
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	10,897.5	4,359.0
	嘱託職員	10,750.2	13,296.3
	臨時職員	0.0	0.0
	計	21,647.7	17,655.3
市民一人当たりの経費		1.3	1.0
総額		65,578.7	53,709.3

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	5,551	消耗品費1,845、燃料費369、食糧費15、印刷製本費477、光熱水費1,783、修繕料1,062
13節 委託費	19,801	施設管理委託料60、保守点検委託料164、その他委託料19,190、シルバー人材センター委託387
15節 工事請負費	957	工事請負費957
19節 負担金補助及び交付金	16	出席負担金16
その他	17,606	嘱託・臨時職員人件費11,920、共済費1,837、旅費17、役務費463、使用料及び賃借料1,520、原材料費300、備品購入費1,542、公課費7

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5,057	消耗品費1,277、燃料費302、食糧費15、印刷製本費380、光熱水費2,021、修繕料1,062
12節 委託費	12,987	保守点検委託料170、施設管理委託料60、シルバー人材センター委託料、1,552、その他委託料11,205
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	238	出席負担金236
その他	17,772	報酬8,217、給料2,476、職員手当等1,855、共済費1,936、旅費109、役務費601、使用料及び賃借料1,386、原材料費326、備品購入費852、公課費14

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市民の憩いの場であり、県内はもとより国内外から多くの観光客が訪れる公園として、竜ヶ池周辺の桜の更新や臥竜山の松の植樹、竜ヶ池の水質改善等、維持管理は重要です。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	長野県森林づくり県民税や長野県発元気づくり支援金を活用し課題の早期解決に努めている。竜ヶ池の水質は前年度に比較して改善の方向にある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	竜ヶ池の浚渫、臥竜公園施設整備、臥竜山の里山整備等を補助事業等の財源確保をしながら進めている。また、民間の独創的なアイデアやノウハウを活用した「先導的な官民連携リノベーションによる活性化事業」が出来ないか民間活力導入可能性調査を実施した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

<ul style="list-style-type: none"> 臥竜公園が市民の憩いの場としての魅力ある環境整備や竜ヶ池等周辺施設長寿命化計画により整備に努める。 樹木の整枝剪定伐採等はお客様の安全管理のために早期対応に努め、長野県森林づくり県民税を活用し整備に努める。 官民連携リノベーションによる活性化事業の実施に向け検討する。 竜ヶ池の水の入れ替えは、費用をかけずにいける有効な手段であり、毎年継続していきたい。
--

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
<p>市内外から多くの人々が訪れる施設であり、安全第一に考えた施設管理が必要。 施設の魅力アップが必要であり、施設の活性化を含め官民連携事業を進めていく。</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
<p>先導的官民連携支援事業の調査結果を踏まえ、施設管理を含めた官民連携の検討を進める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント